

平成25年度第3回新居浜市地域包括支援センター運営協議会  
(兼 第2回新居浜市地域密着型サービス運営委員会) 議事録

1 開催日時 平成26年1月30日(木) 14:00~16:00

2 開催場所 市役所3階 応接会議室

3 出席者

委員：浅井委員、岸委員、沖委員、木戸委員、近藤委員、坂上委員、続木委員、土岐委員、西原委員、松井委員、宮内委員、妻鳥委員、山内委員、山本委員(14名)

事務局：介護福祉課 課長・曾我部、副課長・村尾、副課長・近藤

地域包括支援センター 所長・藤田、副所長・高橋靖、副所長・高橋喜

4 会議内容

- (1) 地域密着型サービス事業者の審査について
- (2) 平成26年度地域包括支援センター事業計画(案)について
- (3) 平成26年度地域包括支援センター重点取組事項(案)について
- (4) その他

5 傍聴者 なし

6 議事録

会 長	<p>定刻となりましたので、ただいまから、平成25年度第3回新居浜市地域包括支援センター運営協議会 兼 第2回新居浜市地域密着型サービス運営委員会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席いただき厚くお礼申し上げます。</p> <p>会議に先立ちまして、新しく委員になられた方をご紹介いたします。新居浜市民生委員協議会より、平成25年11月30日付けで退任された山本前委員の後任として、松井委員さんの推薦をいただきましたので、1月6日付けで、委員に就任していただきました。</p> <p>それでは、松井委員さんには、自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">《松井委員あいさつ》</p>
会 長	<p>松井委員さん、ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の委員の出席状況ですが、委員14名全員が出席いたしておりますので、新居浜市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第6条及び新居浜市地域密着型サービス運営委員会設置要綱第6条の会議の成立要件を満たしております</p>

事務局	<p>ことをご報告申し上げます。</p> <p>ただいまから議事に入りますが、いつものように委員の皆様の忌憚のない活発なご意見をお願いいたします。</p> <p>まず、議題の（１）「地域密着型サービス事業者の審査」につきましては、事務局に進行をお願いしたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">（事務局において審査進行－非公開）</p>
会長	<p>審査の結果につきましては、本会議の最後に事務局より報告してもらいますので、引き続き、議事を進めます。</p> <p>議題の（２）「平成２６年度地域包括支援センター事業計画（案）」及び議題の（３）「平成２６年度地域包括支援センター重点取組事項（案）」につきましては、互いに関連していますので、一括して、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「平成２６年度地域包括支援センター事業計画（案）」</p> <p>「平成２６年度地域包括支援センター重点取組事項（案）」</p> <p>資料１～３により説明</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局から「平成２６年度地域包括支援センター事業計画（案）」及び「平成２６年度地域包括支援センター重点取組事項（案）」についての説明がありましたが、ご意見ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>社会福祉協議会にボランティア・市民活動センターがあるが、地域包括支援センターが、介護支援ボランティア事業のコーディネートをするのか。</p>
事務局	<p>介護支援ボランティアの受入機関の指定や介護支援ボランティアの登録については、新居浜市が管理を直営で行います。介護支援ボランティア事業を実施している自治体の多くは、管理を社会福祉協議会に委託していますが、本市では、地域包括支援センターで管理する予定です。</p>
委員	<p>ボランティアの活動の受け入れ先が、介護施設、事業所となっているが、ボランティア活動はもっと幅広いと思うが、どう考えているのか。自治会や他の団体などもっと幅広く考えればいいと思うが、なぜ事業所だけなのか。</p>
事務局	<p>施設や事業所に介護支援ボランティアが行くだけではなく、将来的には、在宅高齢者へも活動の範囲を広げていくことを視野に入れていますが、まずは、介護施設や事業所等の受入機関でのボランティア活動から始め、それが軌道に乗ってから、支援が必要な在宅高齢者へと広げていきたいと思えます。ただ、その仕組みづくりは非常に難しいと思えます。</p>

委員	訪問介護のような支援になるのか。
事務局	介護サービスでは提供できない隙間の部分を介護支援ボランティアで補うことを想定しています。ただ、先ほども申し上げましたが、新規の取り組みですので、介護支援ボランティアの受け入れ先としては、施設や事業所から始めようと思います。
委員	<p>介護支援ボランティア事業において懸念されるのは、ボランティアの側と受け入れる側とのニーズがどうなのか。情報収集など必要ではないのか。やろうとしている事は悪くないが、受け入れる施設側の立場になると、通常業務をしている中での受け入れは大変になるだろうし、双方の希望がマッチングするのかどうか。</p> <p>他にも高齢者の生きがい、ボランティア、介護予防や研修などやろうとしている事業は多いが、どれも同じような対象者で同じような内容のものが散見される。市民から見たら参加しようと思うが自分は一体どこにマッチングするのか分からないと思うので、まとめられるところは一つにまとめたり、割愛したりして、事業全体をもう少しスリム化した方が市民のニーズに応えられるのではないかと思う。</p>
委員	地域包括支援センターが担った方がいいことと、高齢者福祉の担当課、社会福祉協議会、保健センター等の間で話し合って整理すると、地域包括支援センターの使命とそれ以外の繋がりができると思う。高齢者福祉の担当課が社会福祉協議会に委託して実施している生きがいづくり事業や保健センターが実施している健康教室などとの整合性をどうとるのか、元気高齢者をどうサポートするのかという辺りが活かせるものになるのかなと思う。
事務局	地域支援事業の中で、高齢者の生きがいづくり事業として介護福祉課で取り組んでいるものもありますが、連携を取って一体的に事業を推進しているわけではなく、地域包括支援センターだけで検討した事業計画になっています。本来であれば、社会福祉協議会や介護福祉課などの事業と連携させた方針が必要だと認識しています。
委員	新居浜市にある訪問介護事業所の内、38事業所が新居浜市訪問介護事業所連絡会に加入している。前回、お知らせしていたように、介護予防や介護保険のアンケートを実施し、現在、34事業所から回収したアンケート結果について分析している。
委員	アンケート結果をみると、生活支援の掃除から入っていくケースが多いが、介護が必要になった人が必要とする掃除とは何だろうと考えていきたい。34事業所、527名の会員からアンケートをいただいていることから、500～600名の訪問介護員が新居浜市で働いているという実態が、今回の調査で初めて見えたのではないだろうか。詳しい分析については、後日お知らせしたいと思う。
会長	<p>他にご意見よろしいですか。</p> <p>沢山の貴重なご意見ありがとうございました。委員から出された意見を踏まえて、</p>

	<p>事業計画及び重点取組事項について十分検討していただきたい。最後にその他について何かございませんか。</p>
事務局	<p>4月からの消費税アップに伴い要支援者のプラン作成料が1件当たり412単位から2単位上がるという事で、来年度の委託料についても変更になる予定ですので、次回の地域包括支援センター運営協議会でお諮りをします。</p>
	<p>それと、次回の開催日程ですが、3月27日（木）14：00から応接会議室で開催したいと思います。開催日が近づきましたら、ご案内、資料等をお送りいたしますのでよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、最後に「地域密着型サービス事業者の審査結果」について、事務局より報告をお願いします。</p>
	<p style="text-align: center;">（事務局報告）</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、予定しておりました議題はすべて終了いたしました。長時間にわたりまして、熱心にご協議いただきましてありがとうございました。これもちまして、本日の会議を終了させていただきます。</p>